

「身代わり」改善

物産フードサイエンス株式会社

ただいま電話に出ることができません
ピーッと鳴りましたら お名前とご要件を…

昼休みの電話は人の代わりに
留守番電話で対応。
人の代わりにモノや機械が
お仕事してくれるのなら
お任せするのが改善的。

「身代わり」改善で

省人&安全性向上

「身代わり」改善

人による電話対応を避けるには

メールやチャット、連絡手段は増えたものの、「手っ取り早い」「話のニュアンスが伝わりやすい」ことから、電話での連絡はまだまだ多い。

電話を掛ける側は、自身が電話を掛けたい・掛けることができる状態であるから何の問題も無いが、その相手にとっては「問題あり」となることも。

特に困るのが、昼休み。昼食や軽い睡眠など、午後からの勤務に備える貴重な休憩時間だ。

以前ならば「昼ごはんの時間だけ

ど、電話があれば出てくれる？」で押し切れたかもしれないが、今はコンプライアンス（法令遵守）の時代。休憩時間の使い道は、従業員の自由だと、実は法律で定められている（労働基準法34条3項）。ゆえに電話を待機させられている従業員は、休憩時間を与えられたことにならないのである。

また、朝礼中の受電も困りもの。応対した従業員は、その間にも進行中の朝礼の内容を聞き逃してしまう。

そこで、昼休みと朝礼時は従業員の代わりに留守番電話で受電することにした。丸々一時間、従業員は昼休みを確保でき、内容を聞き逃すこと無く朝礼にも参加できるようになった。

人がしていた仕事を、代わりに機械やモノにしてもらおう。留守番電話のよくなるものがある。

「人でなくても問題ない」「人と同じようにできる」のであれば、人手不足が進む昨今、ぜひとも「身代わり」となる機械やモノを取り入れよう。

省人化だけでなく、危険な作業や場所でも「身代わり」ができれば、職場の安全性向上にもつながる。

とはいえ、「身代わり」で人以外が作業していても、人がやることで逆にやりやすくなったたり危険度が下がることもある。

本特集では、人や手の代わりに担うモノの改善、逆に機械などで進めていた作業を人の手ですることになった改善、それぞれを紹介する。

取材協力

物産フードサイエンス株式会社

- ・本社 愛知県知多市
- ・設立 1969年
- ・従業員数 約230名
- ・事業内容
糖アルコールを中心とする機能性食品素材、医薬品素材、化学品素材等の製造販売・受託製造・卸売販売



総務部 福本のえさん
総務部 荻田香奈子さん

糖アルコールってなに？

糖アルコールは砂糖や水飴と同じ糖質の仲間だ。ガムやキャンディーに使われているキシリトールもその一種で、還元水飴・ソルビトールなど、様々な種類がある。食品の他にも、医薬品や化粧品、練り歯磨き、ティッシュ等、身近で多様な商品に使用されている。

「改善ポイ活」で どんどん改善

社名変更前の日研化成株式会社時代である、1985年からスタートした改善提案活動は、パート社員を含む殆どの社員が活動対象だ。2005年に導入されたポイント制度では、提出すれば参加賞として5ポイントもらえる。評価が上がるにつれてポイントも上がり、1つの改善に対して最高で320ポイントをゲットできる。各年度末におこなわれる「ポイント還元」では、獲得ポイントごとに1ポイントあたりの還元額が100~200円に設定されており、多くポイントを持っていれば、1ポイントあたりの還元額が高い。最も高い1ポイントあたり200円の場合、1000ポイント持っていれば、なんと20万円還元される。コツコツ派、ちょい大物狙い派、ポイントゲット目指して改善が進む進む！

①～②の間で 袋が倒れてしまう!



① 袋がコンベアで流れてくる



② 袋が横から押される

②で袋を押す前に



バランスが悪いと
手前に倒れる



倒れたまま進むと「受け板」での回転がうまくいかず、袋はコンベアからはみ出た状態でローラーへ。袋が破れてしまうことも。

袋を支えるために
作業が必要



コンベアに
手が巻き込まれる危険性

危



「ガイドバー」で人いらず

改善前

クラフト袋を包装する工程。

中身を詰めて封をしたクラフト袋がベルトコンベアで流れてくる。流れてきたクラフト袋をローラーで平らにならす。中身のバランスが悪いと、袋が倒れてしまう。袋が倒れないように、作業者が袋を支えるのだが、コンベアに手が巻き込まれる恐れがあり危険だ。



① 袋がコンベアで流れてくる



② 袋が横から押される



③ 押された袋が「受け板」に載る



④ 「受け板」が回転し、コンベアに対して袋を真っ直ぐに寝かせる



⑤ ローラーで袋を平らにならす

封をしたクラフト袋を平らにならす流れ

これがうまくいけば
いいのだが…



「フォークリフト」やめて 「かご台車」

改善前

包装資材の運搬。
大きくかさばるため、フォークリフトを使っているものの、作業スペースが狭いので、作業員との接触等、事故の恐れがある。また、フォークリフトは資格者しか運転できないので、運びたいときにスグに運ぶことができない。

改善後

フォークリフトで運ぶのをやめて、かご台車で運ぶことにした。フォークリフト使用時と比べれば、事故の恐れは低下、安全性の向上につながった。また、かご台車は誰でも取り扱えるので、運びたいときにスグに運ぶことができる。作業性の向上にもなった。

フォークリフトから
かご台車(人力)へ



- 安全性向上
- 誰でも取り扱える
→スグに運べる



改善後

コンベアの横にガイドバーを取り付けた。
コンベアのつなぎ目で袋が傾いて倒れそうになっても、ガイドバーがおさえてくれるので倒れない。袋を支えるための作業者は不要となり、他の作業に就くことができる。



ガイドバー

人→ガイドバーで
作業者の支え不要に

効果
その①

袋を支えていた作業者は
「人じゃないとできない」
他の作業に配置できる

効果
その②

安全性が向上
危険な場所での作業が
なくなった